

令和2年度 学校教育自己診断（学校評価アンケート）の結果と考察

1. アンケート回答数（回答率）

令和2年10月13日（火）2年 16日（金）1・3年配付 10月23日（金）回収〆切

	在籍	実施日	生徒			保護者			教職員
			1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	3年生	
令和2年度	622人 内訳↓ 1年 207 2年 200 3年 215	10/13 10/16	615人(99%)			507人(82%)			46/46人 (100%)
			204 (99%) 長欠 3	197 (99%) 長欠 3	214 (99%) 長欠 1	173 (84%)	163 (82%)	170 (79%)	
令和元年度	662人 内訳↓ 1年 222 2年 227 3年 213	10/10 10/18	654人(99%)			573人(87%)			51/51人 (100%)
			215 (97%) 長欠 7	227 (100%) 長欠 0	212 (99%) 長欠 1	201 (91%)	183 (81%)	189 (89%)	
平成30年度	668人 内訳↓ 1年 238 2年 220 3年 210	10/19	661人(99%)			600人(90%)			50/50人 (100%)
			234 (98%) 長欠 4	217 (99%) 長欠 3	210 (100%) 長欠 0	218 (92%)	208 (95%)	174 (83%)	
平成29年度	696人 内訳↓ 1年 237 2年 221 3年 238	10/20	687人(99%)			546人(78%)			54/54人 (100%)
			232 (98%) 長欠 5	218 (99%) 長欠 3	237 (99%) 長欠 1	222 (96%)	150 (69%)	174 (74%)	
平成28年度	717人 内訳↓ 1年 237 2年 256 3年 224	10/21	706人(98%)			511人(72%)			54/54人 (100%)
			231 (97%) 長欠 6	251 (98%) 長欠 5	224 (100%) 長欠 0	188 (81%)	201 (80%)	122 (54%)	

2. 考察

集計結果の処理は、肯定的回答（◎○）と否定的回答（△×）に分け百分率で表した。

集計表は過去の肯定的回答との比較を百分率（以下『ポイント』と記述）の増減で表した。

なお、マイナスは数値の前に△を付記する。

また、保護者のアンケートでは「わからない」という回答を設け、その数を引いたものを母数とし肯定的回答と否定的回答の百分率を求めた。

（補足）質問項目のうち、昨年度までの「文化祭、体育大会等、学校行事は生徒が主体的に行っている」の項目について、今年度は行事変更に伴い「体育大会等、学校行事に主体的に関わりたいと思っている」という質問に変更をした。

年次別（過去3年間のデータと比較）

生徒

- ・今年度は多くの項目でポイントが低下している。その中でも特に「実習実験による体験授業が行われている」、「学校行事」に関する項目で大幅な低下が見られた。コロナウイルスの拡大によって学校活動が制限されているため、それに伴って生徒が主体的に活動する場が減少したことが原因であるのではないかと考えられる。
- ・昨年からポイントが上昇していた「今のクラスに友達がいる」の項目が改善しており、生徒たちのコミュニケーション能力を向上させるために取り組んでいるグループワークを取り入れた授業改善などの効果があったと言える。

保護者

- ・ポイントが大幅に低下した2項目「子どもの悩み(いじめなど)や相談に親身になって応じてくれる先生(教職員)がいる」「学校行事」のうち前者の項目については、生徒アンケートで年々上昇している項目であるが、今年度はSCの相談件数も増加していることも関係しているのか悩みをもった子どもが例年より多いため、保護者の不安感にもつながっているのではないかと考えられる。
- ・大幅にポイントが上昇した項目「学校のホームページやまちこみメールを利用している」については、休校等の連絡がこれらを用いて行われたということが理由として挙げられる。

教職員

- ・昨年度と比較するとポイントが低下している項目が多い。
- ・特に「主体的・対話的で深い学びにつながるような学習指導を取り入れている」と「授業においてICT機器を積極的に取り入れている」の2項目に関しては、10ポイント以上の上昇があり、教職員の日々の研鑽が伺える。これは、生徒・保護者アンケート「授業がわかりやすい」の項目のポイント上昇にもつながっていると考える。
- ・今年度大幅に上昇している項目「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている」について、近年悩みを持つ生徒が増加し、その相談に乗る機会が増えたこと、また生活指導関連でも教職員が協力して行うことにより、高い水準を維持できている。今後も生徒のことを考えた指導を継続していく必要がある。
- ・「清掃がいきとどいている」という項目でポイントの減少が見られた。いきとどいていないと感じている教職員が過半数を超えており、改善が必要である。教室等や廊下を毎日清掃するという認識を持ち、この先も長く校舎を使用できるように個々の意識の向上を図りたい。
- ・「学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」という項目がH29年度から毎年低下している。今年度はH29年度に比べると28.6ポイント低下しており、主体的に活動することができない生徒が増えてきている昨今の事情から、行事を運営するうえで教職員が割く時間が非常に多いと感じている教職員が増加しているのではないかと考える。

学年別（全体値との比較）

1年生（生徒）

- ・多くの項目で全体平均値以上であり、学校生活に不満のある生徒は少ないようだ。
- ・「少人数によるきめ細やかな指導が行われている」が平均値より10ポイント高い。中学校と比較して1学級の人数が少ないこと、少人数展開の授業が行われていることが要因と考えられる。
- ・「生活指導をきっちり行っている」「全校朝礼や学年集会は学校生活において自分のためになっている」についての項目が平均値より高く、中学校までにはなかった指導や学校の指導の方向性について理解し、受け入れていると考えられる。
- ・「選択科目や体育専門コースなどの興味関心に応じた授業がある」のポイントは10ポイント低い。1年生に授業の選択等はなく、また2年次につながる授業や説明等が少なくポイントが低いことは妥当である。

- ・「国際理解協力や語学研修など様々な取り組みを行っている」が 20 ポイント低い。1 年生ではスピーチコンテスト以外に取り組みはほぼなく、低いことは妥当である。
- ・「実習実験による体験授業が行われている」が 5 ポイント以上低い。選択授業等の中に設定してある体験型授業が少ないことも考えられるが、中学校の時と比較してアクティブラーニングや体験型授業が少ないことも要因の一つと考えられる。
- ・「子どもの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生（教職員）がいる」が若干低い。生徒が教職員に慣れていないことや生活指導を重点的に行っていること等が考えられるが、必要な生徒に対するケアはできていると考えている。

1 年生（保護者）

- ・多くの項目で平均値より高い。生徒のポイントが高いので保護者のポイントも高くなっていると考えられる。生徒が学校のことを家庭でも話していること、また、学校からの情報発信が保護者に届いていることが要因と考えられる。
- ・「学校に行くのを楽しい」「クラスに友達がいる」等のポイントは比較的高い。生徒のポイントも高いので保護者のポイントも高くなっている。また、休校期間が長く、ようやく学校に行けたという気持ちの表れかもしれない。
- ・「授業がわかりやすいと言っている」「教育方針や教育情報等をわかりやすく伝えている」「能力や努力を適切に評価している」で平均値より高い。生徒の値も高く、保護者にもそのことが理解されていると考える。
- ・「子どもの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生（教職員）がいる」で平均値より若干低い。生徒も同じような傾向があり、子どもが大人に成長していく過程で、おそらく中学校のときよりも学校から家庭へ連絡することも減り、教職員との距離があるように感じているのではないかと。
- ・P T A に関する項目のポイントが低い。中学校と比べると学校までの距離が遠いこと、子どもの成長に伴い、教員と保護者との関わりが低くなっていることが考えられる。

2 年生（生 徒）

- ・ほとんどの項目で平均値に比べポイントが低い。2 年生となり新しいことがなく学校生活がマンネリ化している生徒が多いと感じる。特に授業に関する項目でポイントが低く、これといった目標や進路を持たず、前向きに物事を考えていない生徒が多いように感じる。また、1 年生で行われていた少人数展開が減り、学習についていけない生徒が増加しているのかもしれない。
- ・「実習実験による体験授業が行われている」「選択科目や体育専門コースなどの興味関心に応じた授業がある」で平均値より高くなっている。1 年生ではなかった実験実習や体育コースでの体験授業が行われているとされる。
- ・「少人数によるきめ細やかな指導が行われている」が 20 ポイント低い。学力への不安から少人数による授業を切望しているのかもしれない。

2 年生（保護者）

- ・全体的に平均値前後であり、大きな差異はない。
- ・「授業が分かりやすい」「生徒の能力や努力を適切に評価している」等の学習に関するポイントが低い。生徒の「きめ細かい指導が行われている」のポイントが低いこととリンクしており、保護者も授業や評価に不安があるのかもしれない。
- ・P T A に関するポイントが高い。2 年生の保護者は P T A 活動への参加や興味が高いのかもしれない。

3 年生（生 徒）

- ・全体的に平均値に比べポイントが高い。3 年生となり選択授業や進路等、自分で選択することが増え、学校生活や規則に順応して大人として判断・行動できるようになってきていることが要因と考えたい。

- ・3年生となり進路実現や卒業に向けて、教員への質問や話を聞くことも増え、それに伴う進学や就職へのサポートが評価されていると考えられる。
- ・「選択科目や体育専門コースなどの興味関心に応じた授業がある」「少人数によるきめ細やかな指導が行われている」「国際理解協力や語学研修など様々な取り組みを行っている」のポイントが大幅に高い。自分の希望にあった授業選択や展開授業があり、様々な取り組みにも進路実現等の兼ね合いから参加している生徒がいると考えられる。
- ・「先生に質問できています」「私たちの悩み（いじめなど）や相談に親身になって応じてくれる先生がいる」の項目が平均値より高い。生徒と教員の信頼関係が高まっているためと考えられる。

3年生（保護者）

- ・生徒のアンケートとは反対に全体的に平均値に比べ値が下回る項目が多い。
- ・「学校に行くのを楽しんでいる」「クラスに友達がいる」等のポイントが低いことは家庭で子どもとの会話が減っているのか、または子どもが家で学校の愚痴等を言っているのかはわからないが生徒のポイントと乖離がある。
- ・「授業が分かりやすい」「能力や努力を適切に評価している」「進路や職業について適切に指導している」等の授業や進路指導に関するポイントも低く、進路実現に向けて保護者としてはもっとレベルや質の高いものを要望しているのかもしれない。
- ・「学校の施設・設備」についてのポイントが低い。何処と比較しているのか、何の設備についてなのかがわからないので考察しづらいが、施設の老朽化等は否めない。

令和2年度 学校評価アンケート 自由記述への回答

●教科指導について

本校では各教科で定期的に研究授業や授業見学を行うなど、学校全体で授業改善に向けて取り組んでおります。今回頂きました授業アンケートのご意見や課題について、真摯に受け止め、各教科で分析、改善策を検討し、これからもよりわかりやすい授業をめざし、日々教材研究に励んでいきたいと思っております。選択科目に関しては、現在、生徒の希望する進路に応じたカリキュラムを検討中です。図書に関しては、調べ学習や話題の本を中心に定期的に購入しております。リクエストも受け付けておりますが、すべての要望にお応えすることは難しいです。可能な限り順次購入してまいります。

●体育授業の運動強度について

本校の体育の授業では、努力することの大切さや、達成感を得ることの素晴らしさを教えることを目指しています。その為、頑張ることを促す声かけは多く行います。しかし、きちんと体調面にも配慮し、無理に運動させるといったことはありません。

●水泳のラッシュガードの着用について

来年度より、本校指定のラッシュガードを導入予定です。購入者は意見書等なしで着用いただけます。

●進路指導について

保育系など将来の夢に携われる体験についてですが、本来であれば、毎年夏休みに保育体験を実施しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育園の受け入れが難しいということで中止になりました。その他の体験に関しても、案内があればお知らせし、希望生徒の参加を募集しています。また、希望の職業に関する体験があるか進路指導部に問い合わせてください。

就職に向けた準備について、今年度、一次合格内定率は85%という結果でした。コロナ禍の状況で例年と同じような結果を出せたことは、生徒の頑張りが一番大きな要因です。それに加えて、学年の教員が中心となって面接指導等を実施し、生徒一人ひとりと向き合うことで進路実現を達成できたのではないかと考えております。

●本校での生活指導のありかたについて

美原高校の生活指導につきまして、日ごろからご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。生徒皆が安全でよりよい学校生活・学習の場となりますことを常々考えながら、生活指導をおこなっています。本校では卒業後の進路が就職3割、専門学校4割、短大・四大3割と卒業後すぐ、または1年～2年で社会に出る生徒が多く、『挨拶』や『時間を守る』、『規則を守る』等の生活指導が社会に巣立つ前のキャリア教育として重要な位置づけを担っていると考えています。明るく気持ちの良い挨拶や正しい言葉遣いのできる生徒は年々多くなり、懲戒指導件数や外部からの学校への苦情は減少してきました。

また、遅刻してくる生徒も減少し、大阪府下200校近い高校の中でも遅刻の少ない学校として、指導ノウハウ等を聞かれるほどになってまいりました。これにともない退学率も改善し、生徒の多くが学校生活に前向きに、そして真面目に取り組む様子がみられるようになってきました。しかしながら、現在は欠席数が多くなっており、欠席数を減らすことが課題となっております。高校生という多感な時期は、多くの事に挑戦し、成功と失敗を積み重ね、大人に成長していくものだと考えています。褒める指導も大切ですが、社会で生活していくには失敗から学ぶ事も多くあると思います。高校生活では成功よりも失敗の方が多くあると思いますが、失敗したときの叱咤激励、特に規則や法律を違反した時には厳しく指導をすることが大切であり、それが人生で大きな糧になることも多々あると考えています。

●校則について

本校の校則が厳しいのではないかとご意見を頂きますが、他校と比べても厳しい校則等はありません。多くの高校で同等の規則があり、本校ではその規則を『きちんと守らせる』指導をしています。本校では服装や頭髪・化粧などで外見をアピールすることよりも、挨拶や言葉遣い、マナー遵守等の基本的な生活習慣や基礎学力を身につけることで内面的なアピールができるようになって欲しいと願いつつ、規則・ルールを整え指導を行っています。生徒には、本校での規則・ルールを理解させる努力を惜しまず、またなぜそれが必要なのかを説きながら指導を進めています。生徒の成長を常に考え、将来に希望がもてるように、そして社会に出たときの苦勞を少しでも緩和できるように強い信念をもって指導をおこなっています。また指導が厳しいとのご意見も頂きますが、教員間で指導のブレが生じないよう、教員同士で指導方法や生徒情報の交換を密に行い、個に応じた指導もおこなっています。暴言や暴力、制止を無視するような場合は、大人として毅然とした態度をとる必要もあり、厳しい言葉を使う事もありますが、基本的人権を無視するような行為や言葉を発する事はありません。万が一、そのような事があればご連絡をいただければと思います。

●携帯電話の指導について

携帯電話の持ち込みに関しましては、『校内使用の禁止』『校舎内（下足室を除く）への持ち込み禁止』『携帯電話の使用マナーの徹底』を原則に指導をおこなっております。登下校中の緊急時における連絡をすることが出来るようになったため、保護者の方より安心したとのご意見をいただきました。

しかしながら、生徒の携帯電話に関する現状としましては、授業中にゲーム・SNSをする、登下校中の自転車に乗りながらの使用や音楽プレーヤーとしての使用、不用意な写真の投稿から加害者になる、被害者になるなどトラブルが後を絶ちません。また、携帯依存やゲーム依存のように自宅だけではなく、常に携帯電話を使用していることで、SNSでのトラブルや片手・わき見運転による交通事故等の多くの問題も抱えています。それに伴い学力の低下や心身の状態が不安定になる、人間関係でのトラブル等、直接的にも間接的にも問題が生じていることも事実です。文部科学省の有識者会議においても、「教育活動時に携帯電話を使用することに関し、直接必要ないこと」であるとの結論が出ています。本校としましては携帯電話の校舎内持ち込みについては禁止を継続し、携帯電話に触れない時間を確保しつつ、携帯電話使用についての注意・指導（犯罪者になる・トラブルに巻き込まれるなど）も学校でおこなっています。

つきましては、授業中、部活動中での緊急の連絡は携帯電話ではなく、学校の電話への連絡をお願いします。

●自転車通学について

本校におきましては、自力通学を基本としております。あらかじめ許可された通学ルートで登下校するように指導しております。ご家庭におかれましても法令順守での許可された通学ルートで登下校をするようにご指導ください。万が一、事故にあってしまった場合は警察への速やかな連絡をよろしくお願いいたします。

雨天時は大阪府の条例により『傘差し運転禁止』となっています。合羽の着用をするように指導しています。また条例違反があれば、学校としての指導も必要となると考えていますので何卒、法令順守をお願いいたします。

●自動車による送迎について

送迎により登下校時間帯に学校周辺での渋滞発生、近隣の私有地への無断侵入やスーパー等での目的外駐車等の苦情もあり自動車による送迎は原則、禁止しております。但し、怪我等でやむを得ない場合は、送迎許可証を発行し保護者による自動車による送迎を許可しています。もし、何かやむを得ない理由がある場合は担任に相談し、事前に学校の許可を得るようにしてください。くれぐれも無断送迎がないようにお願いします（無断送迎は指導対象となる場合があります）。

●学校行事および部活動について

今年度については感染症拡大防止の観点から行事の中止や規模の縮小という策を講じ、可能な限り行事を実施してきました。例年とは違う行事の在り方に生徒の皆さんも戸惑いなどもあったと思います。

次年度以降は状況を見ながら安全に留意し活発な行事の運営を目指していきたいと思っております。

部活動についてはそれぞれのクラブでお気づきのことなどございましたらお知らせいただきたいと思います。共有し改善につなげていきたいと思っております。

●第2学年 修学旅行について

修学旅行の日程、行き先に関しては旅行会社に複数提案してもらいましたが、ホテルの感染症対策や、旅行会社の現地でのサポート体制を考慮した結果、当初の予定通りの行程で実施することにいたしました。

保護者への連絡については、9月1日に修学旅行の実施についてのプリントを3種類、10月8日には修学旅行におけるGOTOキャンペーンについてのプリントなどを配布して連絡しております。

●ホームページ等の情報発信について

生徒・保護者の皆様から頂いたご意見を参考に、行事予定だけでなく、緊急の連絡等にもホームページやGoogle Classroom等による情報発信の活用を検討し、効率化と確実性という視点から改善していくことを現在検討中です。

●コロナ対応について

本校では、大阪府や大阪府教育委員会の指示に従い、新型コロナウイルス感染症に対する対策を行っております。

●アンケート実施方法について

性別の記入については、男女の回答傾向の分析等に利用させていただいており、経年変化分析のため継続したいと考えております。また、文字の大きさ等についても、改善できるよう検討させていただきます。